

キャンプレポート「森の防災キャンプ」

開催日

平成29年9月16日(土)～17日(日)

場 所 神奈川県立足柄ふれあいの村

◆企画への「おもい」◆

〇いつ起こるか分からない災害。実際に起こったらどうすればいいの？アウトドア活動には、災害時に役立つスキルがいっぱいあります。いざと言うときどうするべきか、楽しく体験しながら考えましょう。

◆主な活動プログラム◆

〇初 日・・・復興支援経験者による講演、テント張り体験・ペットボトルランタン等作り、炊き出し夕食、段ボール居住区作り

〇2 日目・・・限られた道具を使用した野外炊事

活動の様子



復興支援経験者の講演の中の一幕。防災カルタの絵札を作ります。



作った絵札で防災カルタ取りをしよう！！



テント張り体験。災害時も雨風を防ぐのにアウトドアグッズが役立ちます。



段ボール居住区が完成。避難所でのプライバシー確保を想定して、小さな家を建ててみました。



2 日目のお昼は野外炊事。被災時に貴重な水。限られた飲料水を大切に使いながら、ポリ袋クッキングに挑戦しました。



ポリ袋で作った料理いただきます。美味しくできたかな？

～参加者の声～（アンケートより抜粋）

〇大人も子どもも楽しんで色々なプログラムが出来ました。いつ起きるか分からない災害に身の回りにあるものを使って少しでも快適にする事を学べて良かったです。

〇日ごろからの防災に気をつけようと思いました。

〇ビニール袋で炊事ができることが分かったのでたくさん備蓄しておきたいと思った。

〇水、食料の他に、トイレや炊事の用意も備えたいと思います。

～企画担当者からのコメント～

台風の影響もあり、順番を入れ替えたりとイレギュラーなこともありましたが、概ね予定通りのプログラムで行えました。当初予定していた段ボール居住区での宿泊はできませんでしたが、テント張りに防災グッズ作り、野外炊事と様々なことを体験していただきました。このキャンプを是非、日ごろの防災計画に役立てていただければと思います。